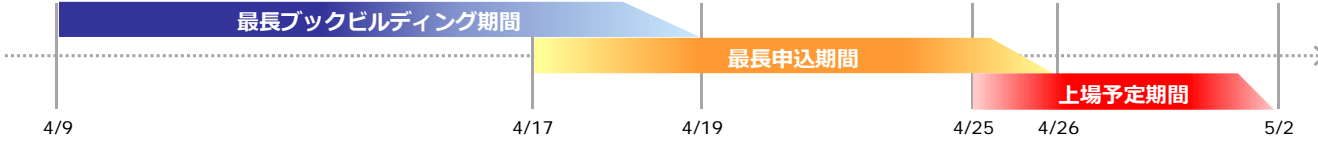


IPO銘柄 コージンバイオ (177A・グロース)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件（上限PER）	主幹事証券
177A	100株	公募：85.00万株 売出：0.00万株（OA12.75万株）	1,840円～1,900円 (15.0倍)	野村證券

■日程



※上場日は4営業日前までに決定。ブックビルディング終了日および申込期間は上場予定日の確定に合わせて決定。

組織培養事業、微生物事業、細胞加工事業を展開

■事業内容

組織培養事業、微生物事業、細胞加工事業を展開。組織培養事業は、ヒト、動物、昆虫などの細胞を増殖させることを目的とした細胞培養用培地の開発・製造・販売を手掛ける。従来は研究用途が中心だったが、現在では再生医療分野や抗体医薬品の製造など臨床用途のニーズが拡大中。こうしたニーズ増に対して、同社は生産技術や営業体制の強化に努め、自社製品のラインナップ拡充と、新たな特注製品やOEM製品の製造受託に取り組む。海外でも市場が拡大していることから、海外の代理店開拓も強化している。微生物事業では、感染症や食品汚染の原因となる微生物を特定するための製品の開発と製造・販売を行う。細胞加工事業では、「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」における再生医療の健全な普及に向け、特定細胞加工物製造受託のほか、再生医療等法規対応サポートも行う。24年3月期3Q実績の売上高構成比は、組織培養事業が39.7%、微生物事業が34.8%、細胞加工事業が25.5%。

■特徴

主力の微生物事業では、創業から40年以上にわたって培ってきた、微生物そのものを増殖させる細菌検査用培地の製造ノウハウを持つ点が強み。23年3月期には年間300品目を超える細菌検査用培地を製造した。また、新型コロナウイルスの感染拡大防止に貢献した抗原検査キットなど、短時間でウイルスを検出し、診断に用いることのできる体外診断用医薬品など、「KBM」ブランドで多くの製品群を市場に投入している。

アナリストコメント

■定量分析

25年3月期の連結経常利益は前期比56.3%増の8億7,600万円を計画する。前期は新型コロナ抗原検査キットの需要が減少したことを受けて棚卸資産の評価損を計上。微生物事業は反動減が続くものの、組織培養事業と細胞加工事業は順調に成長する見込み。

■定性分析

社名にバイオと付くがバイオベンチャーではなく、業績は黒字に定着。収益水準もグロースのIPOとしては高く、買い安心感がある。前期は新型コロナ関連の特需一服で苦しんだが、今期は急回復見込みにある。

■需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は18億円程度。特段の軽量感はなく、一時の勢いを失ったIPO市場では荷もたれ感が意識される可能性がある。ベンチャーキャピタルの保有はあるものの、公開価格の1.5倍水準までのロックアップ条項が付されている。（小泉 健太）

■類似企業

コージンバイオ (177A・グロース)	予想PER 15.0倍 (仮条件上限)
リプロセル(4978・グロース)	予想PER 85.6倍
アテクト(4241・スタンダード)	予想PER 34.3倍

■引受証券

野村證券、みずほ証券、SMBC日興証券、むさし証券、SBI証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
23年3月期(実績)	4,742	20.2	1,244	35.6	829	41.2	199.2	19.00
24年3月期(会社予想)	4,724	▲0.4	560	▲54.9	289	▲65.2	69.4	14.00
25年3月期(会社予想)	4,852	2.7	876	56.3	629	2.2倍	126.9	14.00

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
22年3月期	416,500	5,595	2,216	426	532.3	39.6	31.2
23年3月期	4,165,000	6,134	3,017	426	724.6	49.2	31.7

※23年3月に株式分割(1株→10株)を実施。22年3月期のBPSは遡及修正

大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	中村 孝人	2,209,500	53.05
2	TAKAコーポレーション	416,500	10.00
3	オリエンタル酵母工業	270,000	6.48
4	コージンバイオ従業員持株会	176,000	4.23
5	富士フイルム和光純薬	140,000	3.36
6	渡辺 恒美	120,000	2.88
7	SMBC事業開発1号投資事業有限責任組合	100,000	2.40
7	埼玉りそな銀2号投資事業組合	100,000	2.40
7	コスモ・バイオ	100,000	2.40
10	ニプロ	80,000	1.92

経営陣

役職	氏名
代表取締役社長	中村 孝人
常務取締役 営業統括	中村 雄一
取締役	新井 秀夫
取締役	原 稔
取締役	水上 亮比呂
常勤監査役	森兼 康博
監査役	廣澤 一弘
監査役	梅津 英明

ウェルスアドバイザーIPOレポートの読み方

特徴

ウェルスアドバイザーIPO（※1）レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、ウェルスアドバイザーが位置する中立的な第三者としての立場からIPOに関する情報を提供いたします。ブックビルディング（※2）が始まる前にレポートを提供することにより、IPOへの参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。ウェルスアドバイザーIPOレポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間などIPO日程のほか、ウェルスアドバイザーの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

- ※1 IPO (Initial Public Offering) : 新規株式公開。
- ※2 ブックビルディング: 引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げてPERを併記いたします。PERの水準は初値の参考指標として有効です。

本資料のご留意事項

- ・本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・本資料は、SBI証券が、ウエルスアドバイザー株式会社が信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。
- ・本資料の著作権、知的所有権等一切の権利はウエルスアドバイザー株式会社に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

手数料およびリスク等について

国内株式取引の手数料

・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載しておりません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

留意点

- ・SBI証券が保有する株式等や主幹事担当会社の重要な開示事項（利益相反関係等）についてはSBI証券WEBサイト（http://search.sbisecc.co.jp/v2/popwin/info/home/pop690_kajji.html）をご確認ください。または、カスタマーサービスセンター（0120-104-214（携帯電話・PHSからは03-5562-7530））までお問い合わせください。
- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の取扱店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書はSBI証券のホームページで入手いただけます。

商号等：株式会社SBI証券 金融商品取引業者 登録番号：関東財務局長（金商）第44号 加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
